

# 日本比較経営学会ニュース No.27, June 25 of 2018

News of Japan Association for the Comparative Studies of Management

## 目次

- |                                      |                             |
|--------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 第43回全国大会(杏林大学)開催しました(ご報告) …………… 1 | 6. 『比較経営研究』43号原稿募集 …………… 4  |
| 2. 大会を終えて…………… 2                     | 7. 『比較経営研究』投稿規程 …………… 5     |
| 3. 第44回全国大会をお引き受けして …………… 2          | 8. 『比較経営研究』執筆要領 …………… 6     |
| 4. 2018年度総会報告 …………… 3                | 9. 2017年度決算ならびに2018年度予算…… 7 |
| 5. 2017年度活動報告…………… 4                 | 10. 20期役員体制(一部変更)…………… 8    |
|                                      | 11. 諸会議のお知らせ…………… 8         |

## 1. 第43回全国大会(杏林大学)開催しました(ご報告)

日本比較経営学会は2018年5月12日、13日の両日、杏林大学において統一論題「新たな産業革命と企業経営—光と影—」のテーマのもと、第43回全国大会を開催致しました。大会期間中の参加者は75名(会員66名、非会員9名)でした。日頃は各地で研究に勤しむ会員同士が知の交流を行い、充実した週末を過ごしました。

12日は、自由論題セッションにおいて、人的資源管理など伝統的な経営学のテーマから、中国等を対象とする地域研究、環境等ホットな社会問題まで、様々な研究報告がありました。ワークショップ1では、長谷部弘道会員(杏林大学)の司会のもと、今野晴貴氏(NPO法人POSSE代表)と宮地弘子氏(日本大学非常勤講師)により、外資系企業等での就労実態などを踏まえた研究が紹介されました。ワークショップ2では、國島弘行会員(創価大学)の司会のもと、小西 豊会員(岐阜大学)と松本典子会員(駒澤大学)、馬頭忠治会員(鹿児島国際大学)により、フィールドワークに基づく障害者雇用問題や文献調査に基づいた社会的包摂と排除に関する見解などが紹介されました。記念講演では本学会理事長の桜井 徹会員(国士館大学)の司会のもと、坂本 清氏(大阪市立大学)によって第四次産業革命に関する見解がエネルギーに報告されました。同日夕刻からは会員総会が開催



され、新入会員などの承認の後、本学会のさらなる繁栄に向けた熱い意見交換と提案が行われました。懇親会では開催校の田中信弘氏(杏林大学)より歓迎のご挨拶、林 正樹会員(中央大学)より激励のご挨拶を頂戴した後、木村有里会員(杏林大学)の司会のもとで和やかな談笑が行われました。

翌13日は、前日の記念講演での学びを踏まえ、日高克平会員(中央大学)により趣旨説明がなされた後、日高会員と島内高太会員(拓殖大学)による司会のもと、清水一之会員(明治大学)、森原康仁会員(三重大学)、溝端佐登史会員(京都大学)、衛娣会員(同志社大学)、中瀬哲史氏(大阪市立大学)

により、主要国におけるIT施策の実態と展望が紹介されました。さらに、那須野公人会員(作新学院大学)と長山宗広会員(駒澤大学)により討論が行われました。論題報告につきましては学会誌『比較経営研究』第43号に掲載される予定です。

第43回大会実行委員長の木村会員、大会実行委員の松田健会員(駒澤大学)、山田雅俊会員(玉川大学)、長谷部会員には、1年にわたって打ち合わせを重ね大会運営の準備をしていただきました。ま

た大会運営の舵取りをしていただきましたプログラム委員会の先生方や理事・幹事、事務局の先生方、全国大会に足を運んでくださった参加者の皆様、当日の大会運営のサポートをしていただきました杏林大学の学生の皆様にも大変お世話になりました。本大会が盛況のうちに終わりましたことを心より御礼申し上げます。

(立命館大学 小島愛)

## 2. 大会を終えて

杏林大学 木村有里

新緑まぶしく五月晴れのもと、杏林大学の新しいキャンパスで日本比較経営学会第43回大会を開催できましたことは、大変に光栄でした。ご尽力いただきましたプログラム委員会、大会実行委員会、理事、幹事、そしてご参加の会員のみなさま方に心より御礼申し上げます。今回、見学者も含めて15名以上の大学院生、学部生が会場に来てくれたことは嬉しい驚きでした。

これまで、あたり前のように参加してきた大会でしたが、開催校となって、どれほどの時間と労力が費やされていたのかを知り、あらためて諸先

輩方に感謝と敬慕の念を抱きました。最後に一つ、大会参加申し込みを実行委員長は一日千秋、鶴の首で待っております。学会の重なる時期ではありますが、次回、第44回大会徳島文理大学には早めにお返事しましょうね。また来年お会いできますように、ありがとうございました。



## 3. 第44回全国大会の開催をお引き受けして

徳島文理大学 齋藤 敦

先日の杏林大学での日本比較経営学会第43回全国大会で、来年の全国大会の開催をお引き受けさせていただくことが正式に決定しました。開催は2019年5月10日(金)から12日(日)までの3日間です。

当地徳島は地方都市で、学会ご所属の先生方にはお越しになるのに少々手間がかかる場所であるかも知れません。その点については最初にお詫びさせていただきます。

ただ、徳島自体は海に面し、山に囲まれた自然豊かな土地でもございます。海や山の恵みをご堪能いただけましたら、幸いです。また、徳島はなんといってもお盆の時期に阿波踊りが行われる活気に満ちた場所でもございます。この機会に、阿波踊りなど体験なさせて、時期はずれてしまいま



<https://www.bunri-u.ac.jp/>

すが日本の夏祭りの雰囲気味わうのはいかがでしょうか。徳島を含め四国は昔からお遍路として多くの方がお越しになり、それらの方にお接待が行われてきたということです。どこまで先生方にお接待ができるかわかりませんが、精一杯おもてなしさせていただきたいと思いますので、学会ご所属の先生方どうぞ徳島にお越しください。

## 4. 2018年度総会報告

第43回大会にあわせて開催された2018年度会員総会についてご報告いたします。

会員総会は、2018年5月12日(土)17時20分から、杏林大学井の頭キャンパスF棟3階F309教室において開催されました。終了は18時20分。

### 【1.報告事項】

#### (1)2017年度活動報告

事務局より2017年度中の活動報告として、諸会議・部会について報告がありました。

#### (2)プログラム委員会報告

日高克平プログラム委員長から、プログラム委員会の2017年度の活動報告と2018年度の統一論題の暫定案が報告されました。

#### (3)機関誌編集委員会報告

機関誌編集委員会を代表して齋藤 敦編集委員から、『比較経営研究』42号が無事に発行されたことが報告されました。今号も、発行が年度末に間に合わなかったため、全国大会会場にて配布し、大会欠席会員にのみ送付を行うことにいたしました。

#### (4)学会賞について

村上了太学会賞審査委員長から、本年度の学会賞の該当はなかったことが報告されました。

#### (5)日本経済学会連合について

岩崎一郎評議員から次の説明がありました。2017年5月と同11月に2回評議員会が開催され、同連合の役員改選および会計報告および各種補助に関する報告がなされたこと、同12月に『英文年報』36号が刊行されたこと、さらに2018年2月に英文年報編集委員会が開催され、37号に日本比較経営学会紹介文(担当は岩崎評議員)の掲載が決定されたことなどです。

#### (6)経営関連学会協議会について

山田雅俊評議員から、2018年3月開催の同協議会評議員会において理事・幹事の選挙が行われたこ

とが報告されるとともに、2018年6月10日(於明治大学)に同協議会主催の公開講演会・パネル講演会の告知がなされました。

### 【2.審議事項】

#### (1)第1号議案 2017年度決算ならびに監査報告について

事務局から2017年度の決算(案)が提出されるとともに、所 伸之監事から監査報告が行われ、審議の結果、承認されました。

#### (2)第2号議案 2018年度予算について

事務局から2018年度予算案が提出され、審議の結果、承認されました。

#### (3)第3号議案 入会と退会について

事務局から、2017年度中の入会(5名)及び退会(5名、内逝去会員2名)について報告があり、2018年5月12日現在の会員数は179名であることが報告されました(事務局補足:総会翌日の2018年度第1回理事会で2名の新入会員が了承されましたので、2018年5月13日現在で会員数は181名です)。あわせて、ご逝去された会員への黙祷が行われました。

#### (4)第4号議案 第44回全国大会について

第44回全国大会は、2018年5月徳島文理大学で開催することが承認されました。同大学の齋藤 敦会員が開催校を代表して挨拶されました。

#### (5)第5号議案 予稿集と『学会ニュース』のweb化についての検討開始

コスト削減および編集の利便性確保のために予稿集とweb化について理事会で検討し、成案を2019年度の総会で議論することが承認されました。

#### (6)第6号議案 メーリング・リストの運用開始について

従来、試験的に運用しておりましたメーリング・リストについて、今総会から正式に運用することが承認されました。

## 5. 2017年度活動報告

### 1.諸会議

2017年5月14日

第1回理事会(於 福岡大学七隈キャンパス2号館B1会議室1)

2017年8月31日(木)

第1回拡大常任理事会(於 岡山大学津山キャンパス文法経講義棟12番講義室)

2017年10月2日(日)

第1回プログラム委員会(於 杏林大学井の頭キャンパスF棟2階208教室)

2017年11月25日(土)

第2回プログラム委員会(於 新宿レンタルスペースNear)

2017年12月9日(土)

第2回拡大常任理事会 西日本(於 龍谷大学深草キャンパス紫英館5階会議室)

2017年12月23日(土)

第2回拡大常任理事会 東日本(於 国士舘大学梅ヶ丘キャンパス 34館A-208教室)

## 2.部会

## 【西日本部会】

2017年12月9日(土)13時～17時 於龍谷大学深草キャンパス 紫英館5階会議室

司会・報告者・テーマ

1) 司会:村上了太会員(沖縄国際大学)

報告者:齋藤 敦会員(徳島文理大学):

「学生と考える地域活性化と賃金引上げ」

2) 司会:仲田正機会員(立命館大学)

報告者:山崎敏夫会員(立命館大学):「企業経営の『アメリカ化』と『再構造化』の日独比較」

【東日本部会】(企業経済研究会と合同)

2017年12月23日(土)14時～18時 於国士舘大学梅ヶ丘キャンパス34号館A-208教室

1) 司会: 安藤 陽会員(文京学院大学)

報告者:所 伸之会員(日本大学):「企業活動と環境問題—2つの視点からのアプローチ」

2) 司会: 劉 永鶴会員(東洋大学)

報告者:岩波文孝会員(駒澤大学):「米国機関投資家の投資行動とM&amp;A—Private Equityのバイアウト投資を中心として—」

## 3.「学会ニュース」の発行

2017年7月31日付 No.25および2018年1月31日付 No.26の2回

## 6. 『比較経営研究』43号原稿募集

『比較経営研究』編集委員会委員長  
齋藤 敦(徳島文理大学)

『比較経営研究』編集委員会では、『比較経営研究』第43号に掲載される論文、研究ノート、大会ワークショップ、ミニ・シンポ等の記録、書評の原稿を募集いたします。論文は、学会の統一論題報告や自由論題報告をもとにした原稿の他、会員の自由投稿論文も募集しています。執筆・投稿につきましては、必ず投稿規程・執筆要領をご確認されるようお願いいたします。みなさまの原稿をお待ちいたしております。

## ◎原稿受付〆切

・統一論題報告をもとにした論文:

2018年 9月30日(日) (消印有効)

- ・自由論題報告にもとづく論文、自由投稿論文等  
2018年 8月31日(金) (消印有効)
- ・大会ワークショップ、ミニ・シンポ等の記録  
2018年9月30日(日) (消印有効)
- ・書評  
2018年 9月30日(日) (消印有効)

## ◎書評文献の推薦について

会員が執筆された近著(共著を含む)を自薦、他薦を問わずご推薦ください。書評者についてもご推薦があればあわせてお願いいたします。

## ◎投稿・推薦先

〒770-8514 徳島市山城町西浜傍示180

徳島文理大学 齋藤 敦研究室 気付

『比較経営研究』編集委員会 宛

Mail: asaito@tks.bunri-u.ac.jp

Tel/Fax: 088-602-8542



## 7. 『比較経営研究』 投稿規程

### 『比較経営研究』 投稿規程

2004年9月 4日制定  
2007年5月12日改正  
2011年5月13日改正  
2015年5月 9日改正

#### 1) 投稿資格

原則として、当学会会員とする。

#### 2) 投稿内容

経営の比較研究に関する学術論文(以下論文、大会報告にもとづく論文のほか、自由投稿論文も含む)研究ノート、大会ワークショップ、ミニ・シンポ等の記録、書評等とし、未発表のものに限る。二重投稿は厳に禁止する。

#### 3) 原稿字数

論文および研究ノートは 20,000 字(英文の場合は 7,500 語)以内、大会ワークショップ、ミニ・シンポ等の記録および書評は 7,000 字(英文の場合は 2,550 語)以内とする。この文字数には、本文のほかに図表、注、参考文献も含まれるものとする。

#### 4) 使用言語

審査および印刷の関係上、使用言語は日本語、英語のいずれかとする。  
使用言語が母語でない場合は、使用言語を母語とする者の点検を受けたうえで原稿を提出すること。  
十分な点検を受けていない原稿は受理しない。

#### 5) 執筆要領

別に定める執筆要領にしたがうこととする。

#### 6) 原稿審査

論文あるいは研究ノートとして提出された原稿は、

統一論題報告にもとづく論文を除き、審査の上掲載を決定する。原稿の審査は、1 篇につき編集委員会が依頼する2名の会員により行う。なお、審査の過程において、編集委員会より、原稿の手直しや、論文から研究ノートへの変更を求めることがある。この求めに投稿者が同意できない場合、投稿者は原稿の投稿自体を取り消すことができる。

#### 7) 投稿方法

論文あるいは研究ノートの投稿希望者は、学会誌発行前年の8月末日までに、氏名、所属、職名(大学院生の場合は課程、学年など)、住所、電話、Fax、e-mail アドレス、論文・研究ノート・書評などの別を書き、「執筆要領」に定める数の原稿とファイルとともに編集委員会に投稿すること。その他の原稿については、学会誌発行前年の9月末日までに投稿すること。

#### 8) 規程の施行と改正

本規程は、2004年9月4日より施行する。  
本規程は、2007年5月12日に一部を改正した。  
本規程は、2007年5月12日より施行する。  
本規程は、2011年5月13日に一部を改正した(3および7)。  
本規程は、2011年5月13日より施行する。  
本規程は、2015年5月9日に一部を改正した。  
本規程は、2015年5月9日より施行する。  
本規程改正は、理事会の承認によって行う

## 8. 『比較経営研究』 執筆要領

1) 原稿用紙はA4用紙を使用し、1頁あたり40字×30行、横書きとする。活字は10.5ポイントのものを使用する。英文の場合はA4用紙にダブル・スペースで印字する。

2) 英文アブストラクト(30行以内)を巻末に一括して掲載するので、執筆者は英語を母語とする人からチェックを受けたものを用意し、最初のページに添付する。

3) 統一論題報告をもとにした論文や書評を投稿する者は印刷した原稿1部と電子ファイルを、それ以外の論文や研究ノートを投稿する者はレフリー制度に基づき編集するため原稿3部と電子ファイルを、編集事務局宛に送付するものとする。付表は、必ず原稿の本文中か、末尾に一括して綴じるものとする。

#### 4) タイトル・目次・本文について

イ) 本文の冒頭にタイトル、氏名、勤務先を付記する。例「経営太郎(比較大学)」

ロ) 査読の対象となる投稿の場合には、原稿には氏名、勤務先を付記せずに、別紙に連絡先(住所・電話番号・e-mail)とあわせ記載し、原稿とともに提出する。

ハ) 章・節・項の見出しは、それぞれ1、(1)、①とし、「項」以下の見出しはa)、b)、c)とする。

ニ) 大学院生の場合は所属を「経営太郎(比較大学・院)」とする。

#### 5) 注・文献リストについて

イ) 本文中、当該箇所の右肩に1)、2)のようにつける。

ロ) 注および文献リストは、本文の文末にまとめ

て付す。

ハ) 一つの注のなかで複数の文献を列挙するときは、長くなる場合でも改行をしないことを原則とする。

6) 図表について

イ) 図および表はそのまま印刷できるよう鮮明なものを用意する。印刷所で新たに作る場合は実費負担を求めることもある。

ロ) 図表の番号と標題を、図の場合は図の下に、表の場合は表の上に記す。図1, 図2, 表1, 表2のように図表は別々に、一連の番号を用いる。

ハ) 図や表の典拠などは図や表の下に注記する。

ぐ目的であり、新たな文章を加えないものとする。

○ 予め決められた原稿字数と原稿締め切り日を厳守するものとする。

[付則] 2004 年度第2 回理事会 (2004 年9 月4 日) 改正

[付則] 2007 年度第3 回理事会 (2007 年5 月12 日) 改正

[付則] 2010 年度第2 回理事会 (2011 年5 月13 日) 改正 (3) の 一部)

[付則] 2016 年度第2 回理事会 (2017 年5 月12 日) 改正 (1), 2), 5) および○の一部ならびに追加 6) )

○ 著者校正を実施するが、編集上の重大な誤りを防

## 9. 2017年度決算ならびに2018年度予算

### 2017年度決算 (2017年4月1日～2018年3月31日)

#### 1・収支決算表

	2017 年度予算	2017 年度決算	決算－予算	内容
前期繰越金	673, 729	673, 729	0	
会費収入	1, 109, 600	1, 092, 000	△ 17, 600	内訳は注)1 参照
受取利息	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
全国大会費戻入	0	150, 130	150, 130	第 42 回大会 (福岡大学)
<収入合計>	1, 783, 329	1, 915, 859	132, 530	
全国大会費	250, 000	250, 000	0	第 43 回大会 (杏林大学)
通信費	70, 000	54, 742	△ 15, 258	郵便切手代、宅配便代金
印刷費	650, 000	510, 000	△ 140, 000	
部会活動費	20, 000	3, 375	△ 16, 625	東日本部会
会議費	0	5, 062	5, 062	第 2 回拡大常任理事会 (東日本)
事務費	30, 000	39, 407	9, 407	表彰状印刷費、文具代、学会ニュース用紙、封筒代、HP 使用料、振込手数料など
事務委託費	60, 000	60, 000	0	
加盟分担金	60, 000	60, 000	0	日本経済学会連合、経営関連学会協議会 (各 30, 000 円)
学会賞	20, 000	0	△ 20, 000	
予備費	50, 000	40, 000	△ 10, 000	注 2 参照
次期繰越金	573, 329	893, 273	319, 944	
<支出合計>	1, 783, 329	1, 915, 859	132, 530	

注1) 会費収入 (1, 092, 000 円) の内訳は以下のとおり。

正会員: 2017 年度会費 880, 000 円、過年度会費 72, 000 円、18年度分先払 24, 000 円

シニア会員: 2017 年度会費 72, 000 円、院生会員: 2017 年度会費: 40, 000 円、18年度分先払い 4, 000 円

注2) 非会員報告者4名分の参加費と2名分のお車代

(総会後に発見された誤記がありましたので、微修正しました)

## 2・貸借対照表（2018年3月31日現在）

資産		負債	
事務局手元現金	28,092	次期繰越金	893,273
郵便振替口座	865,181		
合計	893,273	合計	893,273

2018年5月10日に決算しました。理事長 桜井 徹

上記2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）日本比較経営学会の決算は、帳簿、証憑等がすべて正確に処理されていることを会計監査担当監事により認められ、総会において承認されました。

## 2018年度予算（2018年4月1日～2019年3月31日）

	2018年度予算	2017年度決算	2018年度予算- 2017年度決算
前期繰越金	893,273	673,729	219,544
会費収入	995,200	1,092,000	△ 96,800
受取利息	0	0	0
雑収入	0	0	0
全国大会費戻入	0	150,130	△ 150,130
<収入合計>	1,888,473	1,915,859	△ 27,386
全国大会費	300,000	250,000	50,000
通信費	80,000	54,742	25,258
印刷費	600,000	510,000	90,000
部会活動費	20,000	3,375	16,625
会議費	10,000	5,062	4,938
事務費	40,000	39,407	593
事務委託費	60,000	60,000	0
加盟分担金	60,000	60,000	0
学会賞	20,000	0	20,000
予備費	50,000	40,000	10,000
次期繰越金	648,473	893,273	△ 244,800
<支出合計>	1,888,473	1,915,859	△ 27,386

注) 1. 会費収入は、2018年5月11日現在の会員数をもとに予想回収率を85%として、以下のとおり見積った。

正会員:8,000×(134名×80%)=857,600円

シニア・院生会員:4,000×(43×80%)=137,600円

2. 印刷費には、第43号の費用を計上した(学会買取200部)。

3. 事務費には、学会ホームページのサーバー使用料を含んでいる。

## 10. 20期役員体制の一部変更

2017年度の総会で選出された理事・監事および理事長が委嘱した幹事によって構成されました20期役員体制を、2018年度の第1回理事会で、一部変更いたしました。とくに、幹事につきましては、効率化を図り、担当制を導入いたしました。

理事長 桜井 徹(国士舘大学)  
 常任理事(東日本) 國島 弘行(創価大学)  
 常任理事(西日本) 村上 了太(沖縄国際大学)  
 ホームページ担当 松本 典子(駒澤大学)

### 43号学会誌編集委員会

委員長 齋藤 敦(徳島文理大学)  
 委員 岸田 未来(摂南大学)  
 委員 鈴木 由紀子(日本大学)  
 委員 島内 高太(拓殖大学)  
 委員 田中 宏(立命館大学)  
 委員 横川 和穂(神奈川大学)  
 幹事 中道 眞(別府大学)  
 幹事 長山 宗広(駒澤大学)  
 幹事 細川 孝(龍谷大学)

44回大会実行委員長 齋藤 敦(徳島文理大学)

### 44回大会プログラム委員会

委員長 日高 克平(中央大学)  
 委員 木村 有里(杏林大学)  
 委員 國島 弘行(創価大学)

委員 小島 愛(立命館大学)  
 委員 林 裕明(立命館大学)  
 委員 村上 了太(沖縄国際大学)  
 委員 山田 雅俊(玉川大学)  
 委員 芳澤 輝泰(近畿大学)  
 幹事 藤原 隆信(筑紫女学院大学)  
 幹事 山縣 正幸(近畿大学)  
 幹事 山本 篤民(日本大学)

倫理委員会 中屋 信彦(名古屋大学)  
 日本経済学会連合評議員

岩崎 一郎(一橋大学)  
 木村 有里(杏林大学)

### 経営関連学会協議会評議員

桜井 徹(国士舘大学)  
 山田 雅俊(玉川大学)  
 松本 典子(駒澤大学)

### 会員管理

### 学会賞審査委員会

委員長 國島 弘行(創価大学)  
 溝端 佐登史(京都大学)  
 村上 了太(沖縄国際大学)  
 所 伸之(日本大学)  
 横井 和彦(同志社大学)  
 税所 哲郎(国士舘大学)  
 根岸 可奈子(宇部高専)

監事(東日本)

監事(西日本)

幹事 事務局

学会ニュース

## 11. 諸会議のお知らせ

### 1. 拡大常任理事会

日時: 2018年9月8日(土) 12時~13時

場所: 新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス8F C会場(新潟市中央区上大川前通7番町1169番地)

### 2. 西日本部会

日時: 2018年12月1日(土) 13時~

場所: 龍谷大学・大阪梅田キャンパス(大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザオフィスタワー14階) 仮予約中です

### 3. 東日本部会

2018年12月22日(土) 13時30分

場所: 未定

企業経済研究会との合同になる予定です。また、日本経営学会関東部会開催と重複する場合、1週間繰り上げます。

※西日本部会・東日本部会とも午前中に拡大常任理事会の開催を予定しています。

各部会とも報告者を募集中。希望者は事務局までお申し込みください。

編集・発行: 日本比較経営学会事務局

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1

E-mail: [tsaisho@kokushikan.ac.jp](mailto:tsaisho@kokushikan.ac.jp)

国士舘大学経営学部 税所哲郎研究室内

URL: <http://www.jacsm.net/>